

食育 5 分 間 指導（動画）

～役立つ10の話と1つの歌～

制作 らくらく食育研究会

「れんこんパワーの話」(2分10秒)

れんこんの驚くべき3つのパワー、「よくかむことによって、頭の働きがよくなる」「おなかの中がきれいになる」「病気にかかりにくくなる」について、わかりやすく説明しています。これを見ると、子どもたちが「れんこんを食べよう！」と思うこと間違いないし！！

「こんさいの話」(4分30秒)

植物の根っこ、根菜のお話です。子どもたちが苦手な根菜に多く含まれる食物繊維のパワーについて説明しています。おなかの中がきれいになることで、体全体が元気に！！子どもたちの「食べなくちゃ！」という気持ちを高め、苦手なことも忘れさせてしまうかも！？

「牛乳を飲モ～の話」(3分36秒)

寒い時期には、飲み残しが多くなる牛乳。牛乳が苦手な男の子と、牛乳を飲むとおなかの調子が悪くなる女の子の2人が、牛乳から飛び出した「カルシウムくん」との会話を通して、カルシウムの大切さを学びます。成長するにつれて手の骨が増えていく様子の写真や、ピークボーンマスのグラフで、カルシウムが成長期こそ必要な栄養素であることを意識付けます。また、牛乳といろいろな飲み物に含まれるカルシウムの量を比較し、飲み物として牛乳を選択しようとする意欲を高めます。牛乳アレルギーをもつ子どもたちに向けて、牛乳以外のカルシウムの多いおすすめ食品も紹介しています。

「よくかむといいことがある話」(4分55秒)

よくかむことは、誰でも手軽に実践できる健康法。よくかむことの効果「食べ過ぎを防ぐ」「味がよくわかる」「集中力が高まる」「胃腸の働きを助ける」について、具体例を示してわかりやすく説明しています。「もぐもぐかめかめ」の歌と合わせて視聴すると、より効果的です。

「もぐもぐ かめかめ」(45秒)

かむ回数の目安は、一口30回。うさぎとかめの替え歌「もぐもぐかめかめ」に合わせて、自然に30回、楽しくかんで食べましょう。よくかむことを意識付けるための、お役立ち動画です。なお、「よくかむといいことがあるお話」と一緒に視聴すると、より効果的です。

「阿波尾鶏の話」(4分37秒)

誰もが一度は聞いたことがある徳島県のブランド地鶏、阿波尾鶏。品種や育て方などにこだわり、大切に育てることで、適度な旨味と歯ごたえが生まれます。阿波尾鶏の特徴をわかりやすく説明し、地場産物への理解を促します。

「黒毛和牛の話」(3分50秒)

牛乳や乳製品、お肉など、食生活には欠かせない牛。大きく分けて、乳用種と肉用種の2つがあります。普段はあまり知らない牛のお話をかわいいイラストで説明します。モ～という鳴き声が始まりの合図です！

「魚ちゃんと徳島の魚を知ろう」ハモ編

(3分32秒)

魚大好き「魚ちゃん」が、まだまだ知らない徳島の魚について学んでいくシリーズ。第1弾は、紀伊水道で多くとれ、京阪神で人気の「ハモ」のお話です。ギョギョギョ！

「魚ちゃんと徳島の魚を知ろう」ブリ編

(4分42秒)

魚ちゃんが海辺を散歩していると、目の前にけがをした1頭のウミガメの子どもが。助けたお礼に、ウミガメ親子の家に招待された魚ちゃん。さあ、どんな展開が待っているのかな。

「魚ちゃんと徳島の魚を知ろう」サワラ編

(4分47秒)

第3弾はサワラ編。魚が苦手なメイちゃん。魚ちゃんに給食のサワラを食べてもらうことに。そこへ栄養士の先生が現れて…。魚が苦手な子も、思わずペロッと食べるかも！！

「学校給食の歴史を知ろう」(4分47秒)

そういえば、学校給食っていつからあるんだろう…。実は、今から100年以上も前に、とあるお寺のお坊さんが、「子どもたちのために」と始めたことがきっかけで、全国に広まりました。しかし、100年以上もの間続けてこられた背景には、糺余曲折がありました。全国に広まり、定着しつつあった矢先に襲う、戦争による食糧不足。学校給食は中止へと追い込まれます。その後、戦争は終わったものの、子どもたちは栄養不足。今こそ学校給食を再開できたら…。そんな時、あることがきっかけで学校給食は再び息を吹き返します。今や、世界に類を見ない独自のスタイルに進化した日本の学校給食。その歴史を紐解いていきます。

らくらく食育研究会について

「楽しく、楽に、遊びのように仕事ができたらしいなあ」というコンセプトのもと、「あつたらいいな」と思う教材作りに取り組んでいます。「こうだったら楽しいな」「こうすると面白い」等、自由な発想のもと、メンバーお互いの良さが引き出され、楽しく、緩く頑張っています。